

# 日本造船技術百年史 目次

序文	
目次	I
参考文献略記一覧表	III
企業名略記一覧表	IV
日本造船学会の沿革	1
<b>第I部 日本造船技術の揺籃期</b>	
<b>1895年～1910年(明治28年～明治43年)</b>	
概観	23
第1章 性能	25
1.1 抵抗推進	25
1.2 運動性能	28
第2章 強度	29
2.1 構造	29
2.2 材料強度	30
2.3 接合	30
第3章 建造	32
3.1 近代造船業への道のり	32
3.2 造船技術の自立	32
3.3 造船施設の拡張	33
第4章 設計	34
4.1 基本計画	34
4.2 艤装	40
第5章 機関	41
第6章 海洋技術	43
3.2 建造工法	60
第4章 設計	64
4.1 基本計画	64
4.2 艤装	66
第5章 機関	67
5.1 艦艇用ディーゼル機関の黎明	67
5.2 海軍 蒸気機関	68
5.3 商船用ディーゼル機関の黎明	71
5.4 商船用タービン	73
第6章 海洋技術	74
<b>第III部 帝国海軍時代と太平洋戦争</b>	
<b>1930年～1945年(昭和5年～昭和20年)</b>	
概観	77
第1章 性能	79
1.1 抵抗推進	79
1.2 運動性能	83
第2章 強度	86
2.1 船体構造	86
2.2 材料強度	89
2.3 接合	90
第3章 建造	93
3.1 造船業と造船企業	93
3.2 船殻関係技術の発展	94
3.3 船殻工作法の発展	95
3.4 艦艇建造	95
3.5 代表船紹介	98
第4章 設計	101
4.1 基本計画	101
4.2 艤装	108
第5章 機関	110
5.1 海軍 ディーゼル機関	110
5.2 海軍 蒸気機関	111
5.3 日本海軍艦艇推進機関のまとめ	113
5.4 商船用ディーゼル機関の活躍と動向	114
5.5 商船用タービン	115
第6章 海洋技術	117
<b>第II部 日本造船界の勃興期</b>	
<b>1910年～1930年(明治43年～昭和5年)</b>	
概観	47
第1章 性能	49
1.1 抵抗推進	49
1.2 運動性能	53
第2章 強度	56
2.1 構造	56
2.2 材料強度	58
2.3 接合	58
第3章 建造	60
3.1 第一次世界大戦と生産拡充時代	60

第Ⅳ部 世界一の造船国への道  
1945年～1970年(昭和20年～昭和45年)

概観	121
第1章 性能	125
1.1 抵抗推進	125
1.2 運動性能	133
第2章 強度	141
2.1 構造	141
2.2 材料強度	151
2.3 接合	154
第3章 建造	162
3.1 戦後の復興と世界一への道のり	162
3.2 建造技術の変遷	164
3.3 艤装	175
第4章 設計	177
4.1 基本計画	177
4.2 艤装	189
4.3 システム技術	191
第5章 機関	195
5.1 ディーゼル機関	195
5.2 商船用タービン	201
5.3 艦艇用タービン	204
第6章 海洋技術	206
6.1 概要	206
6.2 海底石油資源関連	206
6.3 海洋エネルギーの利用	207
6.4 水産関連	207
6.5 海洋空間利用	207
6.6 海洋調査	208
6.7 海洋汚染防止機器	208

第Ⅴ部 技術立国の造船技術  
1970年～1995年(昭和45年～平成7年)

概観	211
第1章 性能	215
1.1 抵抗推進	215
1.2 運動性能	226
第2章 強度	237
2.1 構造	237

2.2 材料強度	241
2.3 接合	242
第3章 建造	249
3.1 造船絶頂期(1970年～1974年)	249
3.2 構造不況の時代(1975年～1989年)	251
3.3 新たなる発展	257
3.4 艤装	259
第4章 設計	269
4.1 基本計画	269
4.2 艤装	280
第5章 機関	284
5.1 ディーゼル船機関	284
5.2 商船用タービン	286
5.3 艦艇用ガスタービン	288
5.4 システム技術	289
第6章 海洋技術	295
6.1 概要	295
6.2 海底石油資源関連	297
6.3 その他海洋資源利用	302
6.4 海洋エネルギーの利用	303
6.5 水産関連	304
6.6 海洋空間利用	304
6.7 水中技術	309
6.8 海洋調査	310
6.9 海洋汚染防止技術	312

第Ⅵ部 年表 315

第Ⅶ部 写真集 349

あとがき 501